

まるで犯人扱い！！

責任追及姿勢が露骨に顕れている！

12月5日、東京の仕業検査でB13編成のATCチャート紙の印字が正常でないことが発見されました。12月6日、大仕両管理者（山崎科長）は12月4日に大仕両で仕業検査したことから、担当社員に対し電話越しに「あなたのヒューマンエラーが発生しましたので、会社に出向いて来い」と一方的に言ってきたのです。言われた社員は何がなんだか解らない為、私が作業した何処にヒューマンエラーが発生したのか問い質したところ山崎科長は内容を明らかにせず、とにかく出向けと言うことだけを告げたそうなのです。

担当社員は休日でもあり都合がつかないことから出向くことはありませんでしたが、翌7日に尾浦副所長、山崎科長に呼び出され、今回の件について説明をされたそうです。

冒頭「昨日、電話で失礼な事を言って申し訳ない。その後、会社の方で調べてみたところ、あなたのヒューマンエラーではないことが明らかになりました。」と謝罪してきたのです。

冗談じゃない！社員を全く信用せず犯人扱いし、火の粉を払うが如く責任転嫁する姿勢が如実に顕れている！

担当社員が言われるがままに出向いていたら、会社はどのように謝罪するつもりだったのでしょうか？「すみませんでした！」で済ませられる問題なのでしょうか。普通であれば「あなたのヒューマンエラー」と言われれば何らかの罪悪感を抱き一日中不愉快な時間を過ごすわけです。現実、私たち社員がヒューマンエラーを発生させれば会社は即座に一筆を書かせる事で有無も言わさない既成事実を造り自らの責任から逃避してきたわけです。すべての責任を社員に押し付けてきたのが会社管理者の姿勢であることは言うまでもなく全社員が知り得るところです。

今回の山崎科長の対応はあまりにも社員を侮辱した対応と言わざるを得ません。

山崎科長は自らの行為を反省し全社員に対し管理者として謝罪文を掲載するべきではないでしょうか！